

2025 年度一般選抜（コア試験）

出題ポイント

ドイツ語

(和訳と独作文については一つの解答例です。)

- I. A (1) 2 (2) 2
 B (1) 4 (2) 4 (3) 2 (4) 2
 C (1) An (welchem Tag wird die Ausstellung eröffnet)?
 (2) Ich kann mir nicht vorstellen, (dass sie so etwas gesagt hätten).
- II. (1) 1
 (2) 4
 (3) 3
 (4) 2
 (5) 4
 (6) 私たちは誰もが環境汚染に対して何かをすることが出来ます。それがゴミを集めるときの私のモチベーションです。
 (7) 2, 3
- III. (1) 2
 (2) 4
 (3) 1
 (4) この研究の著者たちは、若い人々の個人的将来に対する見方は自国の経済及び社会の状況に強く影響されているという考えに立っている。
 (5) 4
 (6) 2
 (7) 2, 5
- IV. Wir haben zu Hause eine Zeitung abonniert, aber in letzter Zeit lesen immer weniger Menschen eine Papierzeitung. Tatsächlich sehe ich morgens im Zug nur sehr wenige Menschen, die eine Papierzeitung lesen. Stattdessen lesen viele Menschen Zeitungen online, schauen sich Videos an oder lesen Comics. Natürlich haben sowohl Papier- als auch Online-Medien ihre Vor- und Nachteile. Online hat man schnellen Zugang zu den gewünschten Informationen und produziert keinen Müll, während man in Papierzeitungen auf unerwartete Informationen stößt und seine Perspektiven erweitern kann.

(和訳と独作文については一つの解答例です。)

- I. A (1) 3 (2) 2
 B (1) 3 (2) 3 (3) 1 (4) 1
 C (1) Der Mann ist daran interessiert, (sein Haus möglichst teuer zu verkaufen).
 (2) Ich muss heute lange am Schreibtisch sitzen, (um mich um ein Stipendium zu bewerben).
- II. (1) 3
 (2) 3
 (3) 2
 (4) 1
 (5) 4
 (6) それではドイツ語のこれらの多くの長所が大変なドイツ語の学習に本当に助けになることを願っています。
 (7) 2, 4
- III. (1) 3
 (2) 1
 (3) 4
 (4) 2
 (5) 今日ではパスポートは国家が発行する公的な証明書である。
 (6) 4
 (7) 2, 4
- IV. Am Neujahrstag habe ich beschlossen, jeden Tag ein Tagebuch auf Deutsch zu schreiben. Am Anfang habe ich mir Mühe gegeben und versucht, ordentliche, lange Sätze zu schreiben. Aber dann habe ich bemerkt, dass es doch schwierig ist, jeden Tag lange Sätze zu schreiben. Deshalb habe ich mir vorgenommen, jeden Tag zu schreiben, auch wenn es nur kurz ist. Nun ist schon ein halbes Jahr vergangen, und ich habe es bisher geschafft, ohne Unterbrechung Tagebuch zu führen. Mit dem Sprichwort „leichter gesagt als getan“ im Hinterkopf möchte ich dies auch weiterhin machen. Ich freue mich darauf, in Zukunft auf Deutsch zu träumen.

問題の構成

I (A) は基本的な単語のアクセントと発音を問う問題、I (B) は適切な単語を選択する問題、I (C) は与えられた単語を並び替えて正しい語順にする問題、II と III は長文読解問題、IV は独作文という構成です。

問題の特徴と解答の際の留意点

全体として、ドイツ語技能検定試験2級(「独検2級」)程度の基本的なドイツ語力を確認するための問題を出題しています。ヨーロッパ言語共通参照枠のB1におよそ対応するレベルです。以下、各問題の特徴を解説していきます。

I (A) は単語の下線部にアクセントがあるかないかの問題です。分離前綴りにはアクセントがあり、非分離前綴りにはないこと、外来語の場合は第一音節にアクセントがないことが多いことを確認しましょう。

I (B) は適切な語を補う問題ですが、前置詞の用法や冠詞や代名詞の適切な形、語順や慣用表現などです。

I (C) は与えられた語を並び替えて文、あるいは文の一部を作る問題です。動詞の位置や冠詞類の形、特定の構文(経済コアの(2)のum...+zu 不定詞など)に注目すれば正しい語順が導けます。

II と III は長文読解問題ですが、II は会話文、III は評論文です。長文読解は、全体を読んで内容をどの程度理解できているかを確認する問題になっています。また、文脈の中で特定の語句が実際にどのように使われているか、代名詞の指示するものを見極められるか、ドイツ語の表現をドイツ語で言い換えられるかを問うものが出題されます。

長文読解問題では、自分の知らない単語が出てきても前後関係から内容を類推して考えることが重要です。和訳の部分では、主語や時制を間違えずに理解して日本語に訳すことが求められます。意識をしても良いのですが、ドイツ語の文章を正確に理解していることが分かる日本語となっていることが求められます。長文読解の最後には、本文の内容と合っているドイツ語による説明を選択する問題が出題されています。自分の常識で判断するのではなく、書かれていることに即して選択肢の文章と本文の内容と比較してください。IV は日本語で書かれた文章をドイツ語で表現する問題です。逐語訳である必要はないので、日本語の文章をよく読んでその内容をドイツ語で表現してください。日本語にとらわれて翻訳するというよりも、むしろドイツ語として読んで意味が通る文章を書くことが求められます。

学習へのアドバイス

ドイツ語の発音、アクセント、語彙、熟語を普段から意識して覚えることは言うまでもありませんし、基本的な構文の知識や文法の知識もちろん必要です。長文の読解力を養成するためには、普段から長文のドイツ語の文章を読み慣れておく必要があります。現在ではインター

ネットで様々なレベルのドイツ語を読むことができます。特にドイツの国際放送事業体ドイチェ・ヴェレ(Deutsche Welle)のサイトにはレベル別の優れた学習教材が無料で提供されているので是非活用してください。

長文読解は、分からない単語があっても、その単語にこだわらずに全体を見進めて、内容を理解することができるとよいでしょう。ただ、もちろん語彙力があつたほうがいいので、一つのテキストをざっと読んだあとに、わからなかった単語を辞書できちんと調べて、それが出ている文全体を覚えるようにしてください。単語は多くの場合コンテキストによって異なる意味を持つので、単独で覚えるのは効率が悪い勉強法です。

そもそも読解力は母語の読解力と繋がっています。普段から日本語の本や新聞、雑誌などの文章を読み、何を書いてあつたかをメモに取りながら自分の文章として再構成する練習をすると効果的でしょう。次に、そのメモをもとにドイツ語で文章にまとめてみましょう。これは高度な練習ですが、少しでもやっておくと、独作文の力が飛躍的に伸びます。